

# まちづくり交付金について(案) (参画審説明資料)

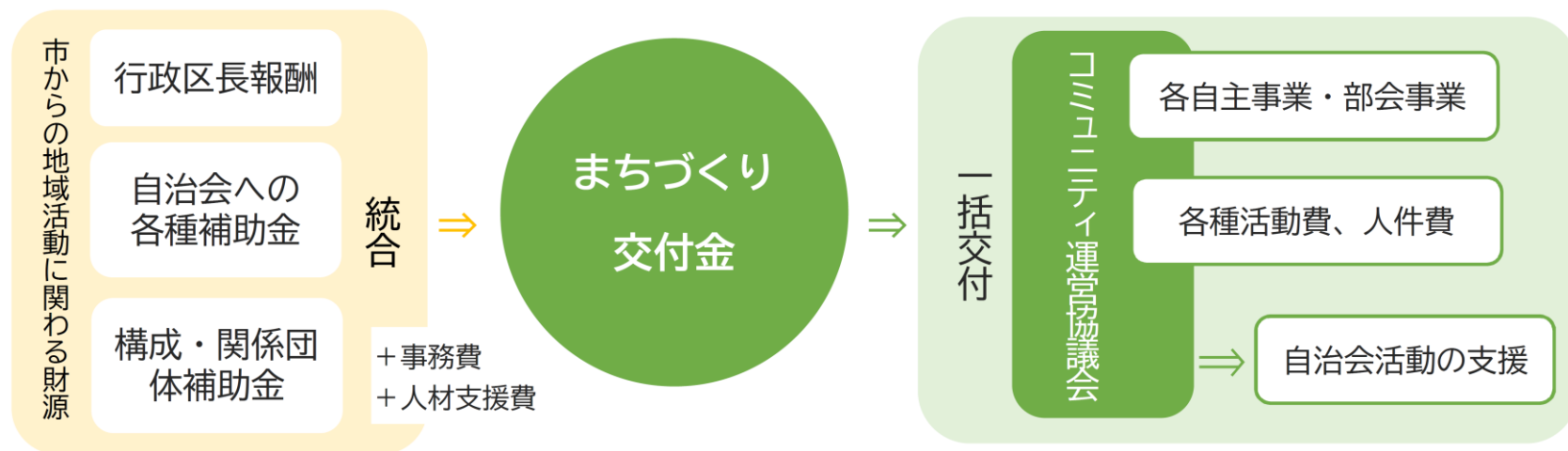
令和8年8月7日

コミュニティ協働推進課(コミュニティ係)

# 1. まちづくり交付金とは

各種団体や自治会に個別に支払われていた事業・分野ごとの補助金を統合し、運営協議会に一括支給。

コミュニティごとに地域活動に優先順位をつけ、地域の実情にあった資金活用が可能となる。



# 1. まちづくり交付金とは 成り立ち

H18,19年度に各種補助金を統合

自治会長報償(H17)

子ども会育成連合会補助金(H18)

青少年育成協議会補助金(H18)

地区青少年指導員会活動協力費(H18)

自治公民館連合会補助金(H18)

食生活改善推進会事業費(H18)

ヘルス推進員地区活動費(H18)

分別排出協力費交付金(H18)

クリーンの会活動費補助金(H18)

街区公園管理費補助金(公園愛護)(H18)

地域福祉推進団体運営事業費補助金(福祉会)(H18)

街路灯設置工事費(防犯街灯)(H18)

衛生組合連合会補助金(防犯街灯)(H18)

青少年指導員報償費(H19)

ヘルス推進員報償費(H19)

食進会地区料理費用(H19)

「まちづくり交付金」として**1本化**



- (1) 子育て支援
- (2) 青少年育成
- (3) 健康づくり
- (4) 高齢者の生きがいづくり
- (5) 環境の美化及び整備
- (6) ごみの減量及びリサイクル
- (7) 防犯及び防災
- (8) 生涯学習

+ α

# 1. まちづくり交付金とは お金の動き(ある地区の例)

市 → コミュニティ運営協議会 → 自治会 へのお金の動き

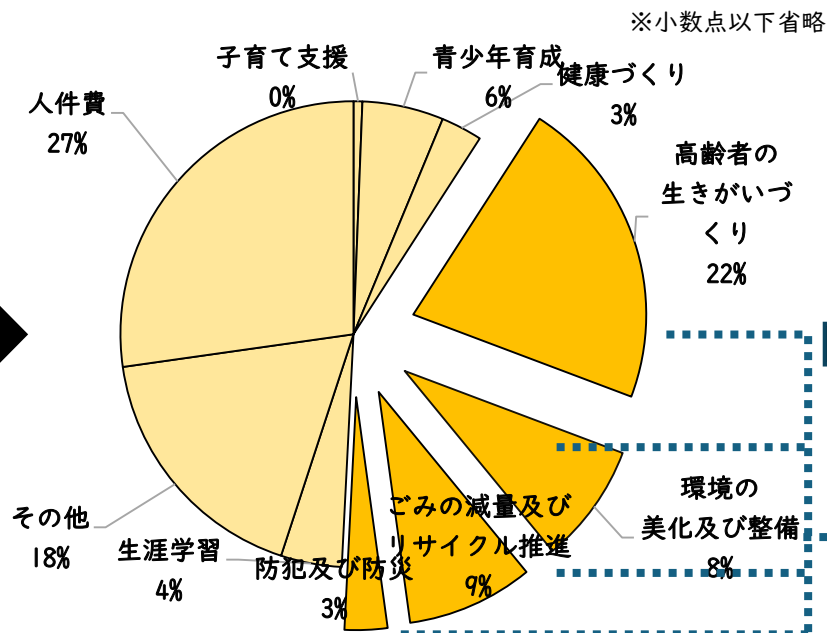
【市】



8項目+ $\alpha$ について  
自己決定・自己実現・自己  
責任による地域分権、住民  
自治促進のため、使途と  
予算配分は地区で決定

実績報告

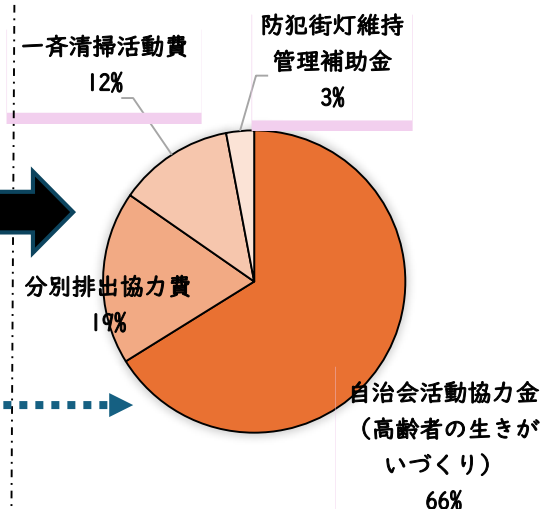
【協議会】



- ① 8項目+ $\alpha$  の予算配分を決定
- ② 使途によっては、一部を構成団体等に交付
- ③ 年度終了後に市に実績報告

【構成団体等】

※グラフはある自治会の場合

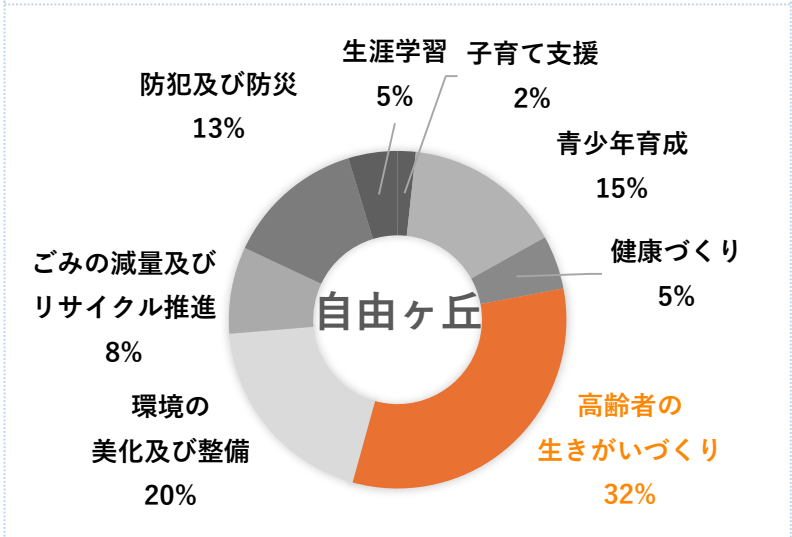
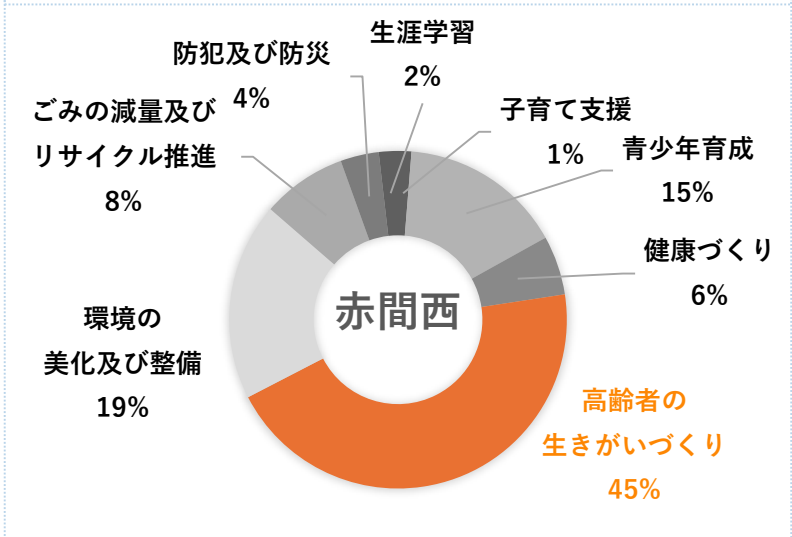
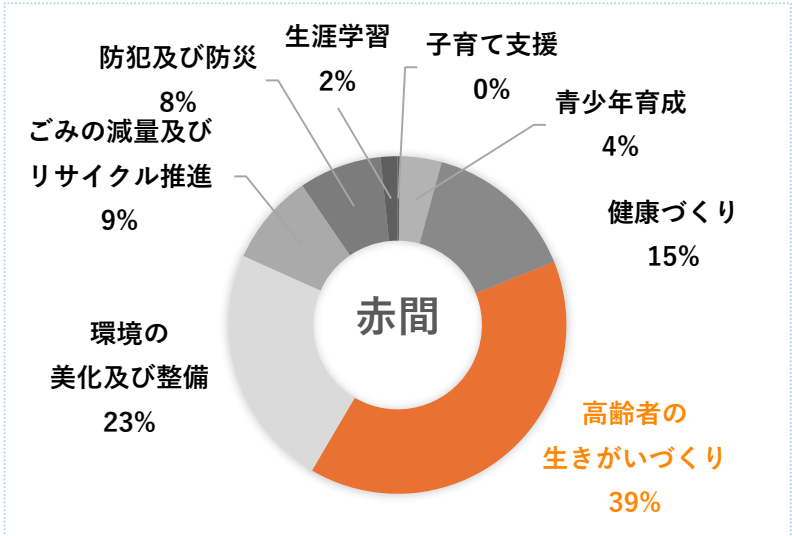
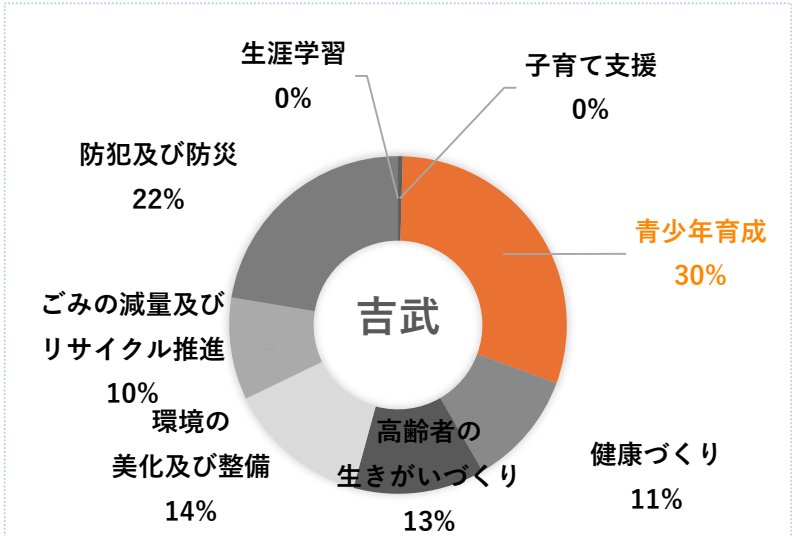


交付されたお金を決められ  
た使途のとおり事業実施

実績報告

# 【参考】各地区の決算状況 コミュニティ活動全体にかかる費用①

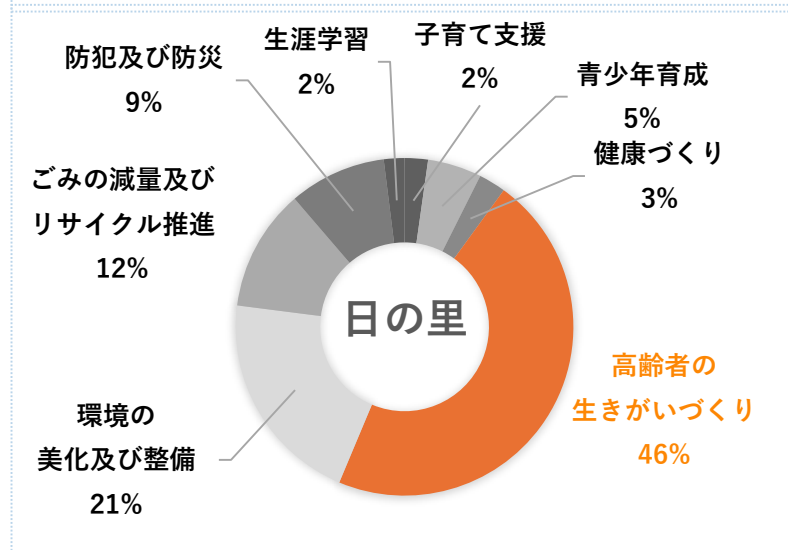
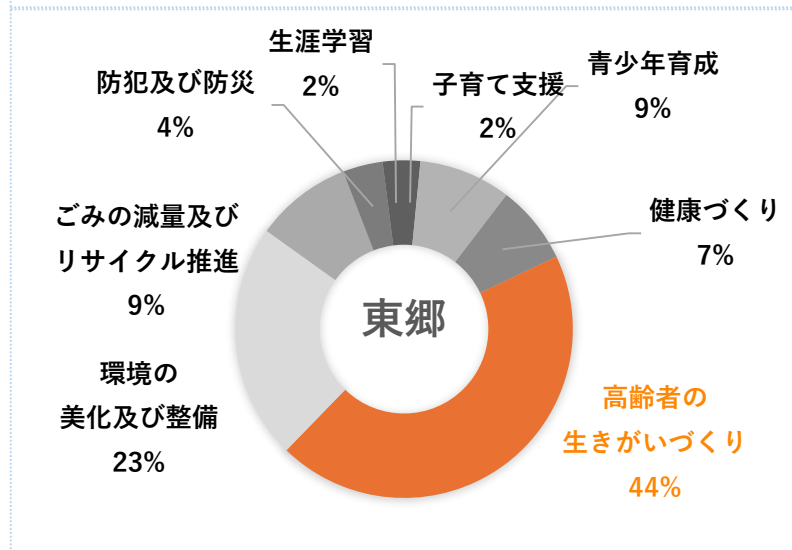
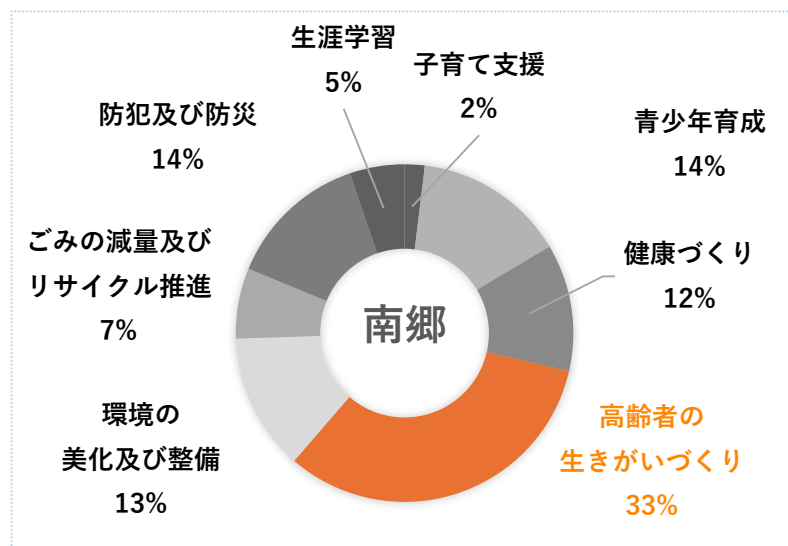
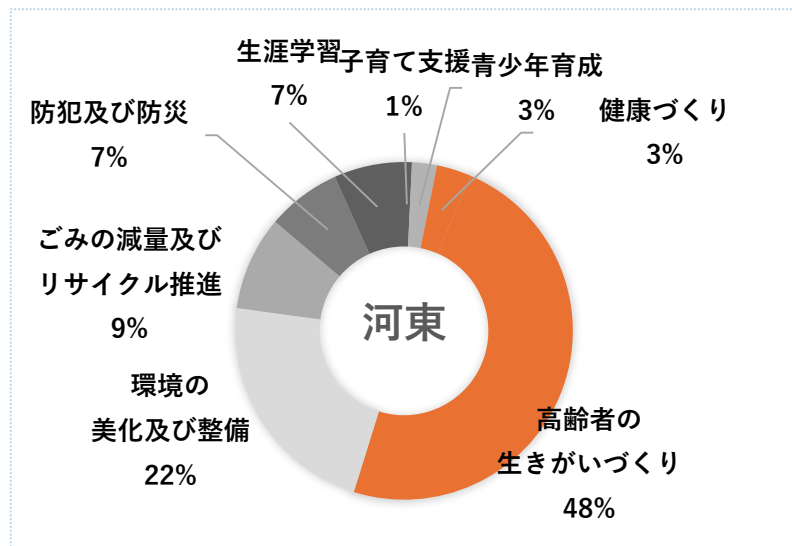
令和6年度の非収益事業決算状況（まちづくり交付金以外も含む）を、まちづくり交付金の8項目で仕分け。オレンジ色の部分は8項目のうち最も割合の高いもの。



※交付金実績報告書や総会資料をもとに作成。全体事業や人件費・管理費等は含まない。小数点以下切り捨て。

## 【参考】各地区の決算状況 コミュニティ活動全体にかかる費用②

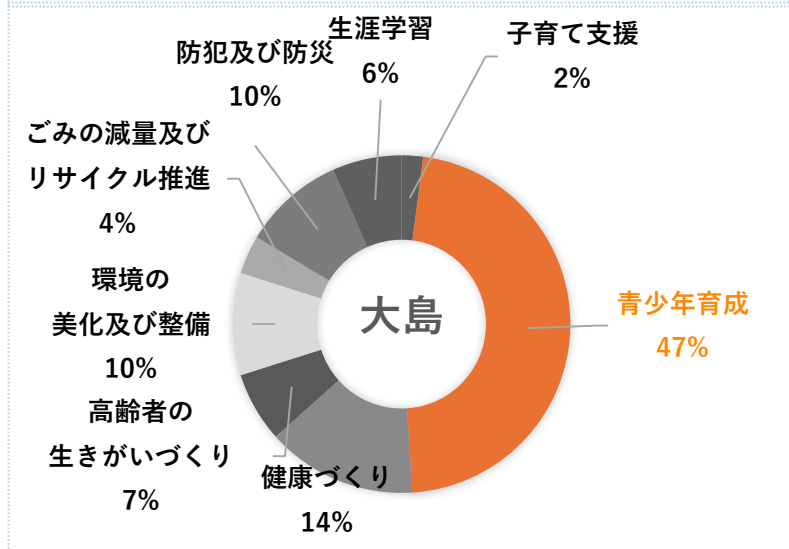
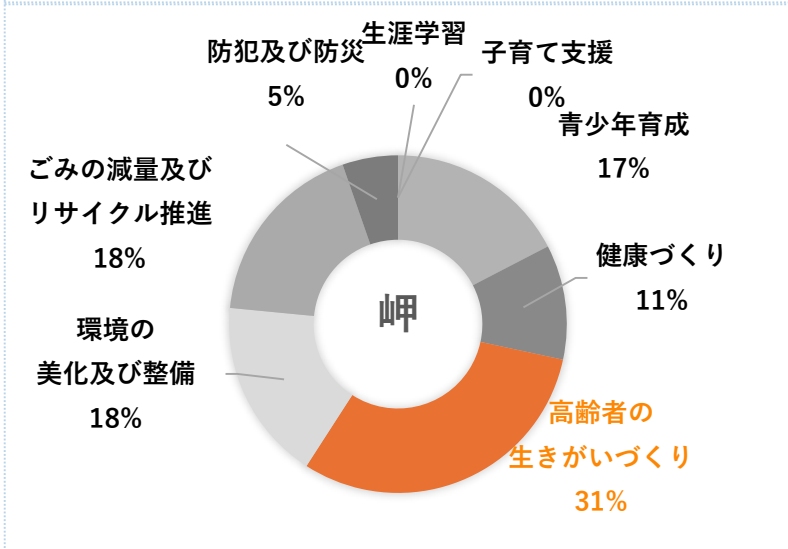
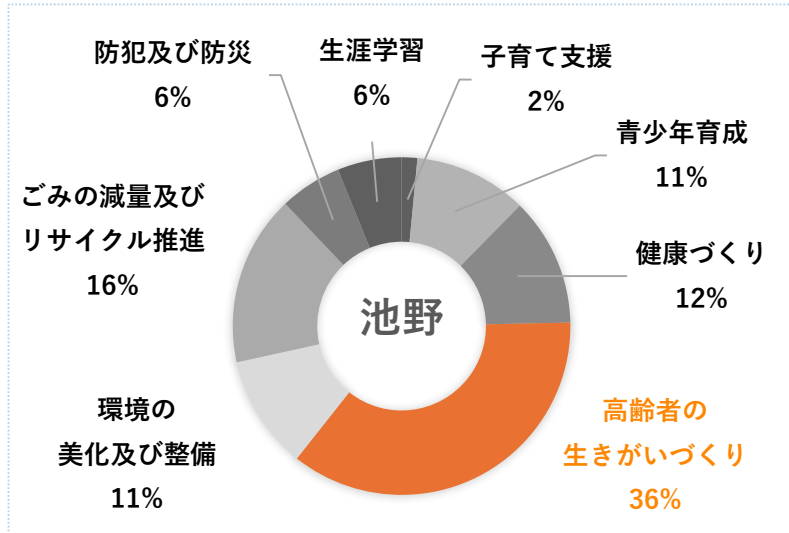
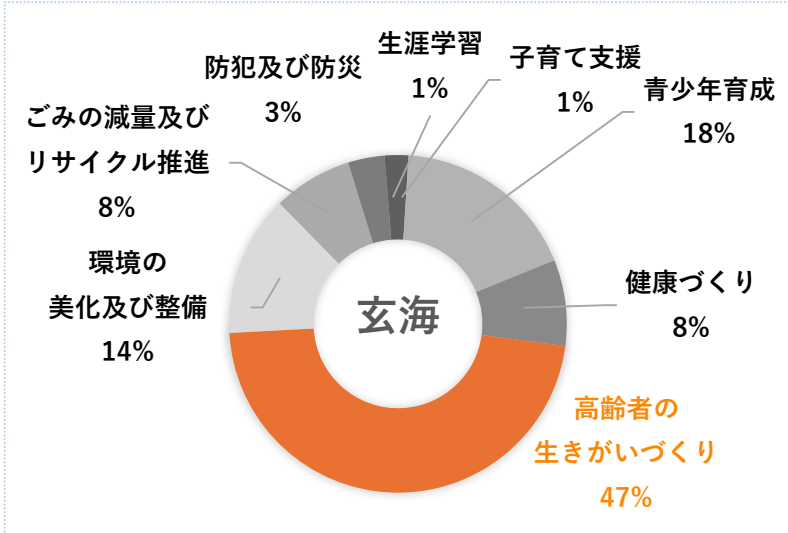
令和6年度の非収益事業決算状況（まちづくり交付金以外も含む）を、まちづくり交付金の8項目で仕分け。オレンジ色の部分は8項目のうち最も割合の高いもの。



※交付金実績報告書や総会資料をもとに作成。全体事業や人件費・管理費等は含まない。小数点以下切り捨て。

# 【参考】各地区の決算状況 コミュニティ活動全体にかかる費用③

令和6年度の非収益事業決算状況（まちづくり交付金以外も含む）を、まちづくり交付金の8項目で仕分け。オレンジ色の部分は8項目のうち最も割合の高いもの。



※交付金実績報告書や総会資料をもとに作成。全体事業や人件費・管理費等は含まない。小数点以下切り捨て。

## 2. なぜ「まちづくり交付金」を見直す必要があるのか

### 現行制度の課題

- ①地区の特性や課題は様々であるにも関わらず、多くの地区の配分比率が酷似
- ②決算状況(R5、R6)においても同じ事業(配分)がなされ、前例踏襲の傾向にあり、事業をすること自体が目的となっている。



### <見直し目的>

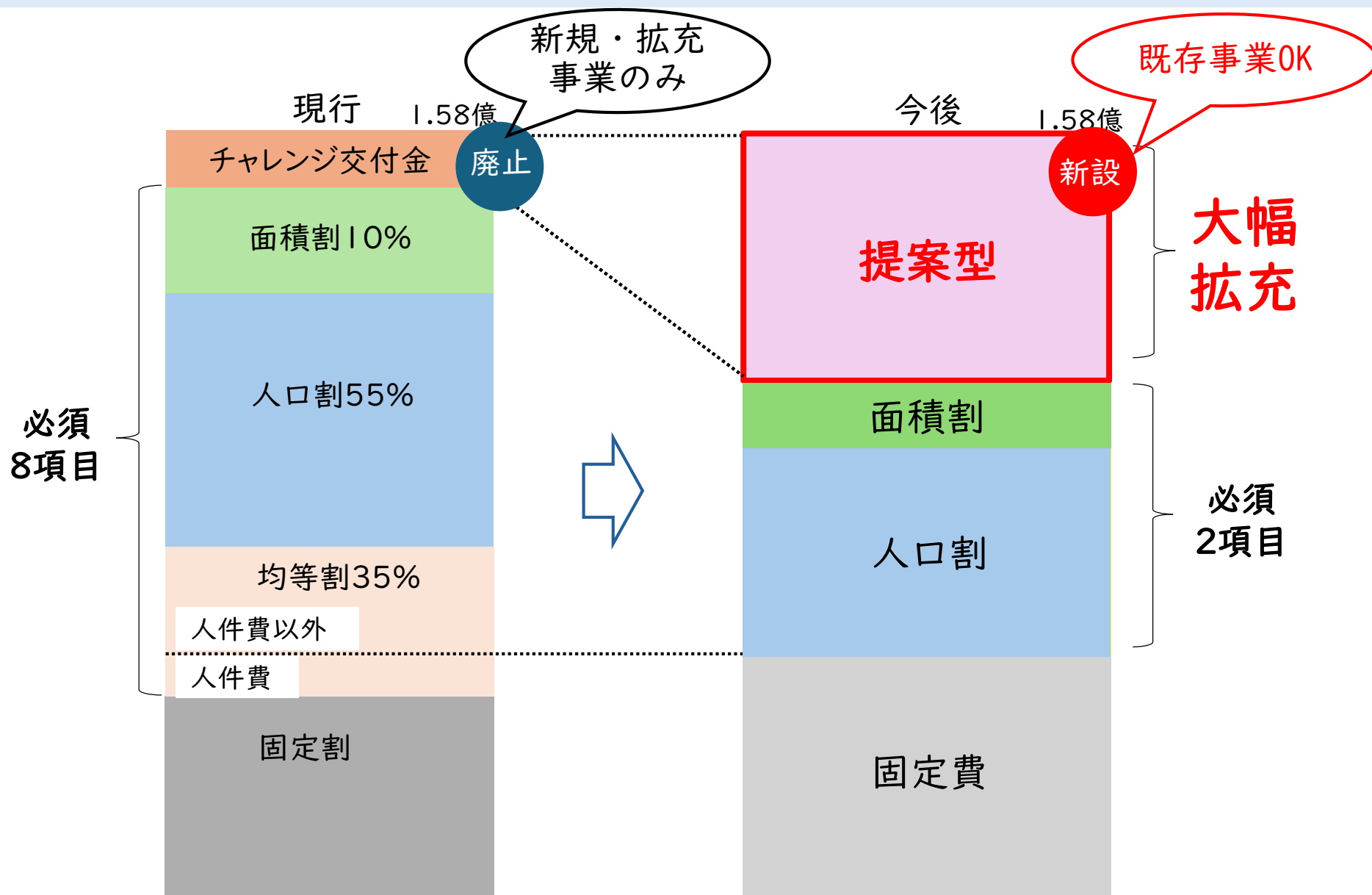
自分たちが地域づくりのために

# 必要なことを『考えて』

事業を組み立てていく

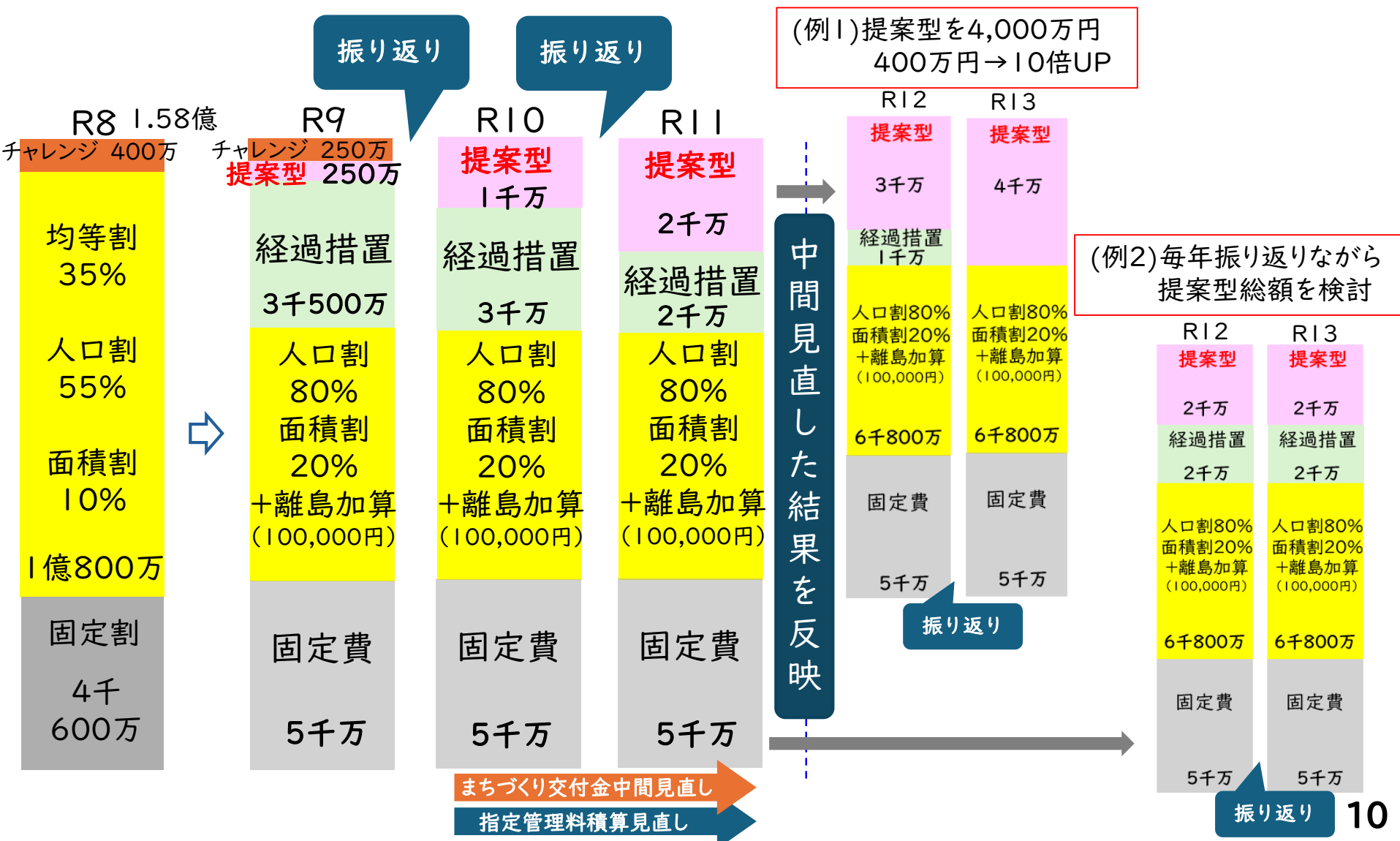
地域の課題やニーズを感覚的な判断だけでなく、地域カルテ等のデータ(地域に関わる客観的なデータ等)を用いることで、地域の実情や課題に即した、現実的で実効性のある事業を組み立てていく。

### 3. 主な見直し点



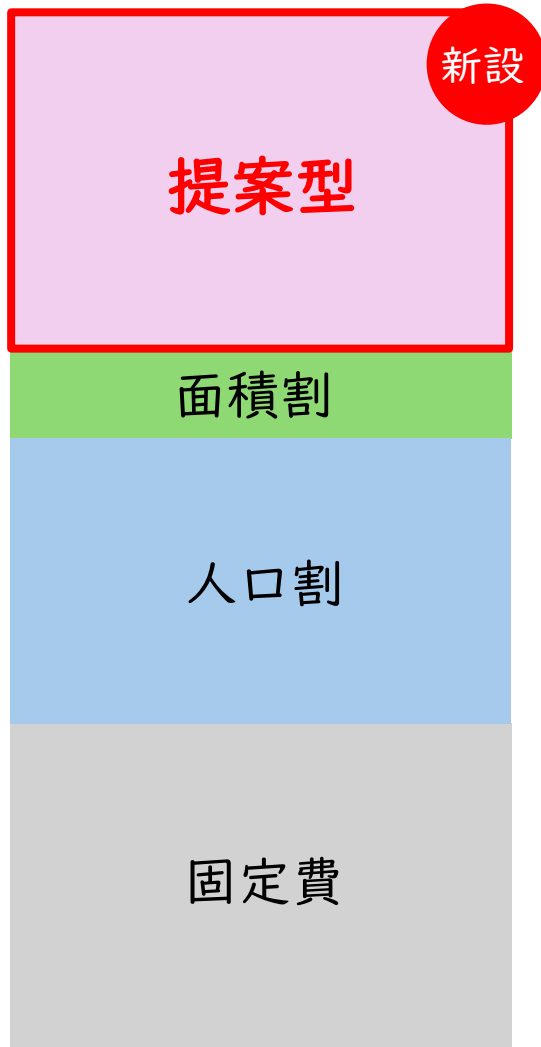
## 4. 中間見直し

指定管理料の積算見直しに合わせて、まちづくり交付金の新制度についても中間見直しを行いながら、**令和13年度に完成**させる。



## 5. 参画審への依頼事項

各コミュニティから申請される提案型について「事業検討会」を実施



### 【事業検討会でお願いしたいこと】

- ・事業ブラッシュアップのための助言
- ・団体育成のための助言
- ・市予算配分に向けた優先順位づけ

## 6. 提案型について ～概要～

### 1. 申請主体（実施主体）

コミュニティ運営協議会（協議会及び協議会が認める団体等）

### 2. 申請可能な事業

地区の事業に関連する数値的データに基づき必要とされる事業

### 3. 交付額の上限

1事業あたり**50万円**を上限とする。（地区の上限は設けない）

※令和10年度以降は1事業あたり**100万円**を上限とする。

### 4. 申請

①同一目的かつ同一実施主体の事業については、1事業として申請可能。

※既存事業も申請可能。ただし、自治会長報酬は除く。

②2、3年目は申請不要。ただし、前回申請から予算を増額する場合は再度審査が必要。

③1事業に占める人件費は事業費総額の**3割**を上限とする。

※人件費とは、事務局員の人件費。活動にかかる費用弁償や報酬は含まない。

### 5. 事業検討機関

宗像市市民参画等推進審議会

※申請総額が予算上限を超える場合はコミュニティ関係者は除く

### 6. 実施報告

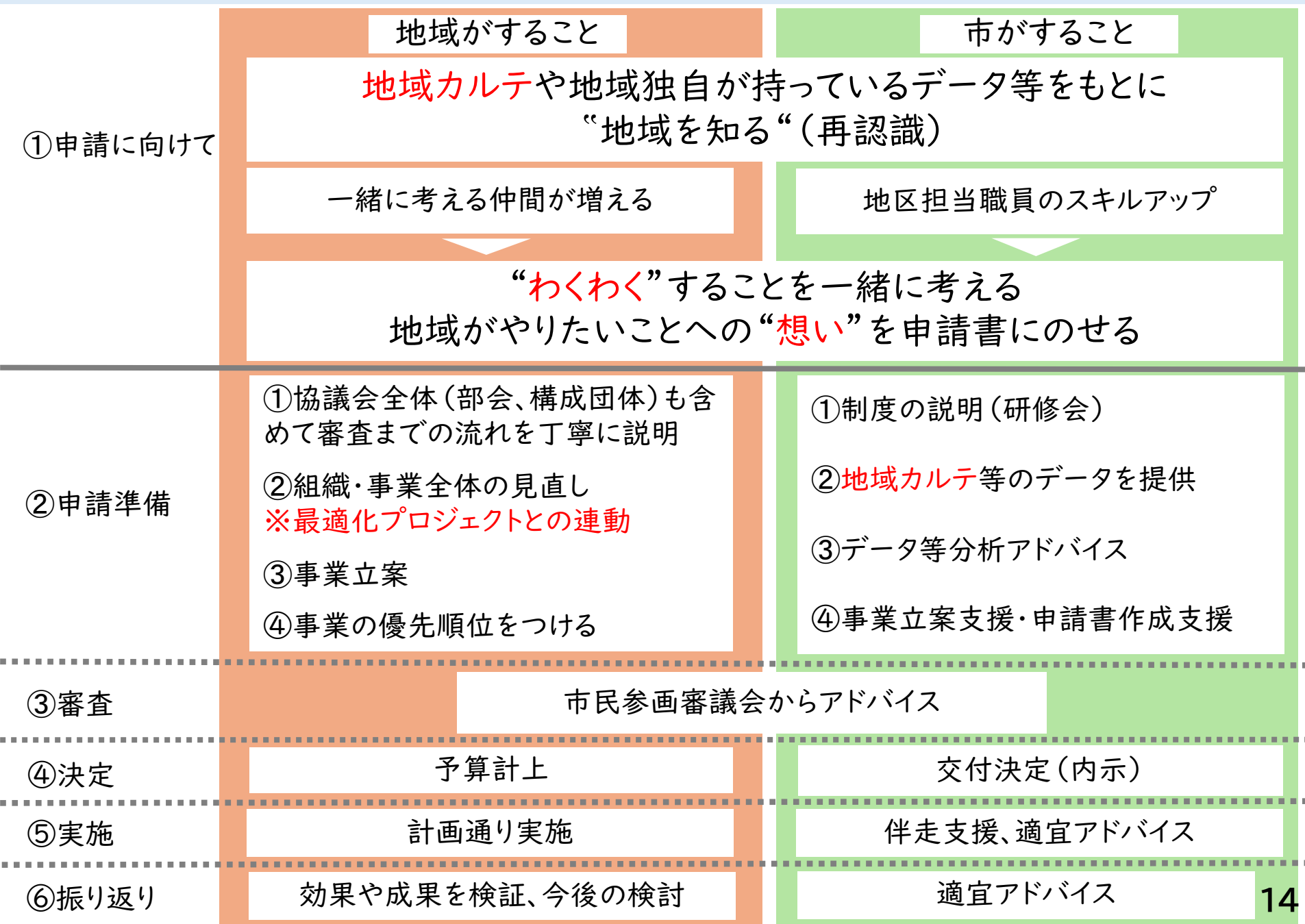
実施報告書の提出及び実施報告会の実施

## 6. 提案型について ～スケジュール～（今回決定）

|     | 当年度                |    |    |                    |    |    |           |                    |     |    |       |           | 次年度   |    |     |
|-----|--------------------|----|----|--------------------|----|----|-----------|--------------------|-----|----|-------|-----------|-------|----|-----|
|     | 4月                 | 5月 | 6月 | 7月                 | 8月 | 9月 | 10月       | 11月                | 12月 | 1月 | 2月    | 3月        | 4月    | 5月 | 6月  |
| 次年度 |                    |    |    |                    |    |    | ●提案型以外の内示 |                    |     |    |       |           | ★交付決定 |    | ★交付 |
|     |                    |    |    |                    |    |    |           | ★申請メ<br>ブラッシュアップ期間 |     |    |       | ●参画審事業検討会 |       |    |     |
|     |                    |    |    |                    |    |    |           |                    |     |    | ●交付内示 |           |       |    |     |
| 随時  | ★申請メ<br>ブラッシュアップ期間 |    |    | ★申請メ<br>ブラッシュアップ期間 |    |    |           |                    |     |    |       |           |       |    |     |
|     | ●参画審事業検討会          |    |    | ●参画審事業検討会          |    |    |           |                    |     |    |       |           |       |    |     |
|     | ★交付決定              |    |    | ★交付決定              |    |    |           |                    |     |    |       |           |       |    |     |
|     | ★交付                |    |    | ★交付                |    |    |           |                    |     |    |       |           |       |    |     |

提案型予算の余剰を上限に申請可能とする。

## 5. 提案型について ～申請から実施までの流れ～



## 5. 提案型について ～審査基準等～

### 大きな視点

「誰もが関わり 誰もが愛する 未来につながるコミュニティ」 (第3次コミュニティ基本構想・基本計画の将来像)

### 審査基準(視点)

| 区分                                   |       | 視点                                                                             |
|--------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A.課題重要度</b><br>(各5点満点×2)<br>最大10点 | 1.必要性 | 実施内容は、地域の特性や課題、ニーズ等を踏まえたものになっているか<br>事業の目的や対象者は、明確になっているか                      |
|                                      | 2.公益性 | 実施内容は、地域住民の利益につながる取り組みになっているか<br>まちづくり計画等(事業計画等)の推進につながる取り組みになっているか            |
| <b>B.効果度</b><br>(各5点満点×2)<br>最大10点   | 1.効果性 | 実施内容は、想定する効果が見込まれる取り組みになっているか<br>実施後、実施内容及びその効果等について振り返り、次につながる仕組みになっているか      |
|                                      | 2.実効性 | 実施内容に対して、スケジュール等の実施計画が十分検討されているか<br>実施内容を実行するための予算や人員、その他の実施体制が過不足なく適正か        |
| <b>C.未来加算</b><br>最大10点               | 1.発展性 | 子どもや若者の参画等、以前より多くの地域住民の参画や愛着形成できるような事業設計になっているか<br>多様な主体との連携ができるような事業設計になっているか |